

検査ニュース

No.143

ご挨拶

平素より、佐賀県医師会成人病予防センター業務には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は「新規実施項目」についてご案内申し上げます。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

● 新規実施項目

トリコスポロン・アサヒ抗体

平成 25 年 6 月 3 日（月）ご依頼分より（6 月保険収載）

夏型過敏性肺炎の主要な原因抗原トリコスポロン・アサヒの抗体測定を開始いたします。

検査項目	検体量	容器	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値及び単位
トリコスポロン・アサヒ抗体	血清 0.3mL	スピッツ (茶色栓)	7~14	900 ※5	Antigen-captured ELISA	0.15 未満 (CAI) 判定基準: 下記参照

※5 免疫学的検査判断料

夏型過敏性肺炎は、トリコスポロン属の真菌胞子の反復吸入により発症するアレルギー性肺疾患で、日本の過敏性肺炎の約 70%以上を占める特徴的な疾患です。

発症時期は、トリコスポロンが高温多湿の居住環境で増殖する 7 月をピークとした夏季に多く、発症環境の大部分は患者自宅です。予後は、亜急性では良好ですが、居住環境から原因抗原が除去されずに再発を繰り返して慢性型に移行すると、肺の線維化をきたし呼吸不全に至ることもあり、早期診断が必要です。最近では、居住環境の気密化や加湿器の普及により、発症環境は古い木造家屋に限らず、発症時期も長期化の傾向があるといわれています。

このたび、夏型過敏性肺炎の主要な原因抗原トリコスポロン・アサヒ (Trichosporon Asahii) に対する抗トリコスポロン・アサヒ抗体の測定を受託開始いたします。本検査は、呼吸器感染症や間質性肺疾患との鑑別に有用と考えられます。ご利用をご検討ください。

【判定基準】

CAI (Corrected Absorbance Index)	判定
0.15 未満	陰性
0.15~0.30 未満	判定保留
0.30 以上	陽性

CAI (Corrected Absorbance Index) : 補正吸光度

トピックス

血糖コントロール目標値が改訂、HbA1c 値を 6.0%、7.0%、8.0% の 3 段階に集約

新基準では、これまで 5 段階としていた血糖コントロール目標値を HbA1c 値 (NGSP) の 6.0%、7.0%、8.0% の 3 段階に集約した。その上で、治療目標は年齢や罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、ケアのサポート体制などを考慮して、患者ごとに設定するとした。いずれも成人に対しての目標値であるが、妊娠期は対象外としている。6 月 1 日から施行された。

新基準は、HbA1c 値の 7.0%未満を「合併症予防のための目標」と定めた。これを軸に、6.0%未満を「血糖正常化を目指す際の目標」とし、さらに 8.0%未満を「治療強化が困難な際の目標」と設定した。